

令和5年度 資金収支予算表 (単位：千円)

収入の部	会費	1,955
	寄附金	310
	経常経費補助金	39,650
	受託金	34,718
	事業	1,710
	介護保険事業	10,098
	障害福祉サービス等事業	11,208
	その他の活動	22,712
合計		122,361
支出の部	人件費	77,771
	事業費	6,447
	事務費	17,137
	共同募金配分金事業費	1,350
	助成金	4,017
	その他	5,426
	予備費	200
合計		112,348

【要旨】長期に渡るコロナ禍と物価高の影響で、多くの方が経済的に困窮する厳しい状況が続いています。人と人がつながる機会が減少し、誰にも相談できず課題が深刻化するケースも増えていきます。地域での孤立に気付き、つながり、継続的に見守る人たちの存在が重要であり、社協は関係機関や地域住民と協働して、積極的かつ継続的な支援を行います。

今年度は第4次島本町地域福祉活動計画の1年目です(下記参照)。従前のネッ

島本町社協

令和5年度 事業計画

トワークや福祉活動の実践に加えICT(情報通信技術)を活用し、世代や分野を越えて支え合いながら共に生きる「地域共生社会」を目指します。

重点目標

- ①第4次島本町地域福祉活動計画に基づく事業展開
- ②暮らしの困りごとを抱えた世帯への情報提供と継続的な支援の強化
- ③災害に備える地域と社協の体制整備

詳しくは社協ホームページをご覧ください

第4次 島本町地域福祉活動計画を策定しました

社協は、地域共生社会の実現を目指し、地域福祉推進にあたっての基本的な考え方と具体的な取り組みを明らかにしていくものとして、令和5年度から令和9年度の5か年計画となる第4次島本町地域福祉活動計画を策定しました。

この計画は「人々の個性輝く、ふれあい豊かなやさしい地域づくり」を基本理念に掲げ、地域に暮らすすべての人々が、性別や年齢、障害の有無、ライフスタイルの違いなどを超えて、理解しあい、共に支え合いながら、安心していきいきと暮らせるまちづくりを目指します。

詳細は社協HP

(<http://www.shimasyakyo.or.jp/>)

をご覧ください。



社協HP

暮らしの困りごとを抱えている方へ

生活自立相談窓口は、経済的な不安や生活上の苦しさなどの困りごとに対し、プライバシーを守り安心して相談できる身近な窓口です。

- 特例貸付を利用したが生活再建がままならない。
- コロナ禍以前から生活が苦しい状態が続いている。
- 必要な手続きや情報収集が苦手。
- 仕事が見つからない、長続きしない。
- ひきこもり状態の家族がいる。



支援員が状況をお伺いし、寄り添いながら支援します。個人や事業所から寄せられた食料品、日用品をお渡しすることもできます。従来からある生活福祉資金(通常貸付)のご相談もお受けします。

お電話、メールでご連絡ください。プライバシーを守る個室を用意します。

まずはあなたのお話を聞かせてください。

生活自立相談窓口 TEL.0120-87-5417

制服リユースのお知らせ 皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします



社協は、町立中学校の制服リユースに取り組んでいます。

思い出のつまった制服を捨てることができない方と、何とか出費を抑えたいご家族のために、愛着のある制服のボタンタッチをお手伝いします。

リユース対象は上着、ズボン、スカートで、必要な方へ随時、無償でお渡しします。卒業で不要になった、サイズが合わなくなったなどの制服を、リユースに役立てていただけません。

提供いただける方

- 制服は社協へお持ちください。
 - 体操服、ポロシャツはお預かりできません。
 - ネームの刺繍は取り外してください。
- ※譲り受けを希望される方は、在庫確認のため必ず事前に社協へお電話ください。

上記の申し込み・問い合わせは社協 (TEL.962-5417または0120-87-5417) まで